**第１０回登別市市民自治推進委員会　育み部会議事録**

（敬称略）

◆ 開催日時：平成２９年３月２７日（月）　１７：３０～

◆ 開催場所：登別市役所２階　第１委員会室

◆ 出席部会員：部会長　　安宅　錦也

　　　　　　　 副部会長　川村　正勝

部会員　　仲川　弘誓

　　　　　　　　　　　　 合田　美津子

　　　　　　　　　　　　 磯田　大治

　　　　　　　　　　　　 橋場　太 （協働推進庁内委員会部会長）

【教育部次長】

◆ 欠席部会員： 部会員 　佐藤　文子

　安部　直也（協働推進庁内委員会副部会長）

【教育部社会教育Ｇ総括主幹】

◆ 事務局：　　　　　笠井　康之【市民生活部市民協働グループ総括主幹】

野畑　衣里子【市民生活部市民協働グループ主任】

◆ 議題：「総合計画第３期基本計画・第１次実施計画（平成２８年度～平成３０年度）」の第５章について

**≪事務局≫**

　本日配付した資料は３種類あります。

　前回の部会の中で、全体の集計から「トイレの利用について」「中学校区毎の公園の利用状況」「全く使われていない（名前の挙がらなかった）公園」を抽出するという話がありましたので、それぞれの集計を出しました。

　１つ目は「トイレの利用について」です。トイレのある公園は３０施設ありますが、そのうち名前が出てこなかった公園は２つ（登別東町運動公園、川上自然公園）ありました。それ以外の公園については、設問６のトイレの利用の有無と合計を出し、「利用したことがある」についての利用率を右側に記載しております。

　２つ目は「中学校区毎の公園の利用状況」です。こちらの資料は中学校区毎と幼稚園保育所をまとめており、設問２の遊んでいる日の合計を出し、利用の多い公園順に並べています。この資料は、学校区毎の一番利用されている公園と使われていない公園がわかります。

　３つ目は「全く使われていない（名前の挙がらなかった）公園」を青いマーカーで印を付けています。以前配付した資料の中に、市内公園の一覧がありますが、市内に公園は１３５か所ありまして、名前が出てこなかった公園は２８ありました。名前だけを羅列するよりも地図に標した方が良いかなと思い地図に２８箇所印を付けています。使われていない（名前の挙がらなかった）公園は全体の２０.７%ありました。

（3/16室民朝刊コピー配付）

今、配付しました新聞記事ですが、３月中旬に予算委員会がありまして、市民自治推進委員会に関する質問及び答弁があり、新聞には市側が答弁した内容と異なる意味合いで掲載されてしまいました。

この報道により、一部の委員から副委員長に問い合わせがあったことから、委員長より一度市と共通認識を持ちたいとの話があり、１７日に委員長副委員長に市の答弁内容とは別の意味合いで掲載されている旨を伝え、ご理解をいただきました。

また、委員長から各部会へも報告した方がいいとの話があり、部会開催時に皆さんに報告することとなりました。

今回の記事については、読む人それぞれの捉え方があると思いますが、実際に答弁した内容としては、庁内委員として市職員も部会のなかで協議していき、以前に失敗したことのないような形でやろうということで進めており、もしもこの方法では上手くいかないのであれば、また違う方法を考えなければならないとも思っていますが、今はこの方法で皆さんと共にやっていくという考えである旨と答弁しております。

市の考えとしては、市民自治推進委員会は特定の目的のための委員会ではなく、市政全般にわたり、市民と行政の協働のまちづくりを推進する重要な委員会として位置付けされております。

そのなかで、「市民自治の推進」や「市の進める事務・事業」といったことを協議することとされており、自分たちのまちづくりは自分たちで進めるといった市民自治の趣旨を踏まえ、市民と市がどのように協働していくのかを議論していくこととしております。

皆さんご存知のとおり、現在、市民自治推進委員会では、昨年４月の全体会議において各部会とも「健康」をテーマとしてその取り組みについて議論を進めておりますが、自分たちのまちづくりについてどのようなことができるか話した結果、市民が身体的、精神的に健康でなければまちづくりを進めていけないと考え、医療費のかからないまちづくりを進めるため、「健康」ということを柱として取り組んでいくことで決まりました。

現在は「健康」をテーマとして議論し、平成２９年度はその取り組みを各部会とも進めていくこととなりますが、その部分にこだわるものではなく、今後はその他の取組や実施計画の中身のことも皆さんと協議しながら進めていきたいと考えております。

また、先月の部会長・副部会長会議でも話がありましたが、委員長副委員長からは、市民自治推進委員会の取り組みを市民に知ってもらうため、年に１度くらいは広報紙で周知をしていくという話がありましたので、市としましても取り組みをして参りたいと考えています。新聞記事に関する説明は以上になります。

本日の部会は、「総合計画第３期基本計画・第１次実施計画（平成２８年度～平成３０年度）」の第５章についてお話ししていくということで、前回の部会で決まっておりましたので部会長お願いいたします。

≪部会長≫

事務局から説明がありましたが、この部分について何かありますか。

≪部会員≫

新聞記事のことで補足ですが、松山議員から「市の最高規範であるまちづくり基本条例から逸脱している」と言われ、それに対する市の答弁が「協働のまちづくりを進めるための方策を探りながら、現状の体制で協議をしていく」という内容でした。松山議員は昔の市民自治推進委員会のイメージで今もいらっしゃるのかなと思います。

今の自治推進委員会は、一緒に協働のまちづくりをしていく方策を考えながら一緒に動いていくという方向なのですが、そのような形ではなくて、自治推進委員会が監査・指導する立場だというようなイメージが強くてズレているのではないかということだったようです。議員が誤解されているということをはっきりしていただかないと自治推進委員会として動けないということと、市は新聞記事のような答弁はしておらず、市民自治推進員会の事をよく理解した上で進めているということでしたので、各部会で説明をしてくださいということになりました。

≪部会長≫

この件についてはよろしいでしょうか。

先程配付いただいた公園の資料については、次回、この資料を基にして公園の利活用について進めていきたいと思います。

≪部会員≫

次回公園の話をする際、公園の担当者に来ていただくことはできますか。

≪事務局≫

事前に依頼すれば可能です。

≪部会長≫

本日は、総合計画第３期基本計画・第１次実施計画（平成２８年度～平成３０年度）」の第５章の部分を検討していきたいということでしたので、進め方について事務局お願いします。

≪事務局≫

　市民自治推進委員会で、関係する章の事業を見ていき、関連する団体と協働で取り組めるものがあるかなど、既存事業の展開等について話してくようなことになると思います。

≪部会長≫

　第５章にある事業について関わっている中で、協働で出来そうなことについて見ていただき、ご意見をいただければと思います。

≪事務局≫

　今まで「健康」というテーマで進んできましたが、健康にこだわらずに見ていただければと思います。

≪部会員≫

　全部で２０ページくらいなので、一つひとつチェックしていった方が良いですね。

≪庁内委員≫

１事業ずつ見ていく形をとると、昔の市民自治推進委員会のようになってしまうので難しいですね。

≪部会員≫

表現方法等を考えなくはならないですね。

≪事務局≫

自分達の団体がどのような形で関わっていけるのかというような提案のような形で実施していければ良いと思います。

事業がたくさんあるので、補助金等の広がらない事業を除いて各自見てもらい、次回以降に協議していくということで良いですか。

≪部会員≫

図書館についてですが、ビジョン策定に我々の部会や市民自治推進委員会委員も入ってもらい、内容を理解してもらい、周知方は各委員から各団体へ周知していけるような形にしていければなと考えていました。

≪部会員≫

図書館の本を増やしたり利用率を上げたりするというのは、今図書館に関わっている委員さん達だけでは難しいのですか。

≪部会員≫

無理です。図書館は人手不足で、とてもハードな作業を行っています。

私達は、本を読む環境を市全体で作っていきたいなと考えています。

個人で運動をしても広がらないので、このように部会から発信して広げていけたらなと思っています。

≪部会員≫

自治推進委員会の良い所は、色々な団体が入っているので、各団体に今図書館が希望していることを伝えていく。そのためには、図書館長から情報をいただいて、その中で自治推進委員会として協力できることがあれば各団体に投げかけていくということはできると思います。

≪事務局≫

入れ替えした本は全て捨ててしまうのですか。

≪部会員≫

古本市というのを実施しており、一人１０冊まで持っていける取り組みをしています。

≪事務局≫

そういうことを実施していたのですね。そういう情報がわからないです。

≪部会員≫

どこかの団体で、本の入れ替え作業等に協力いただければ広がっていきますね。

≪部会長≫

学校にも学級図書用の本を図書館から借りています。

ただし、図書館の人数的な問題でシフトできないので、学校に置いている物が滞っています。そういうところに入れ替え作業をしてくれる団体がきてくれれば利活用が進むのかなと思います。

≪部会員≫

市民活動センター等を通して各団体に呼び掛けることはできると思うので、まずは図書館のニーズを把握したいです。

≪部会員≫

確認しておきます。

≪事務局≫

実施計画の第５章の話に戻りますが、見ていくと色々と出てくるかもしれませんが、色々なことに取り組むと中途半端になってしまうと思います。

≪部会員≫

「健康」という基盤は持ち続けた方が良いと思います。

この原点は変えない方が良いと思います。

≪部会長≫

一通り見てみましたが、この項目からは難しいですね。

≪庁内委員≫

基本が文化・スポーツとなれば、財団を作ったのがそこに目的がありますので、事業といってもなかなか出てこないのが現実です。

≪部会員≫

スポーツなどをやっている子ども達の遠征の補助は、市の助成金で賄えるものなのですか。

≪部会長≫

小学生の少年団関係でも全道大会規模になると補助がでると思います。

≪部会員≫

補助はでますが、家庭の負担はありますね。

≪部会員≫

お金が無くて大会に出られない子どもはいるのでしょうか。

≪部会長≫

そのような話は聞いた事がないです。

親は何としてでも連れて行くと思います。

≪部会員≫

遠征等の金銭的なことを考えて、子どもがやりたいことを最初からさせない親もいるのでしょうか。

≪庁内委員≫

そのような話は聞こえてこないですが、いるかいないかはわからないですね。

≪部会員≫

生活環境により、子どもが好きな事をできずに我慢をするという事が気になりますね。

実態が把握できれば良いのですが、難しいですね。

≪部会員≫

子ども達の心身の健康の保持に市民がどう関われるのかということを入れながら話をすれば網羅されるのではないですか。

≪部会長≫

今の話と並行して公園のことを話していければ良いのかなと思います。

≪事務局≫

次回は都市整備部職員に出席してもらい、公園の話がメインでよろしいですか。

【次回の取り組みについて】

　都市整備部職員に出席してもらい、本日配付した集計表を基に公園の利活用について協議する。

【次回会議について】

　４月２４日（月）１７時３０分から